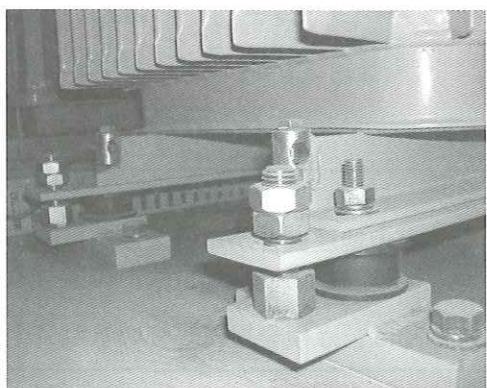


変圧器下部に防振ゴムがある場合

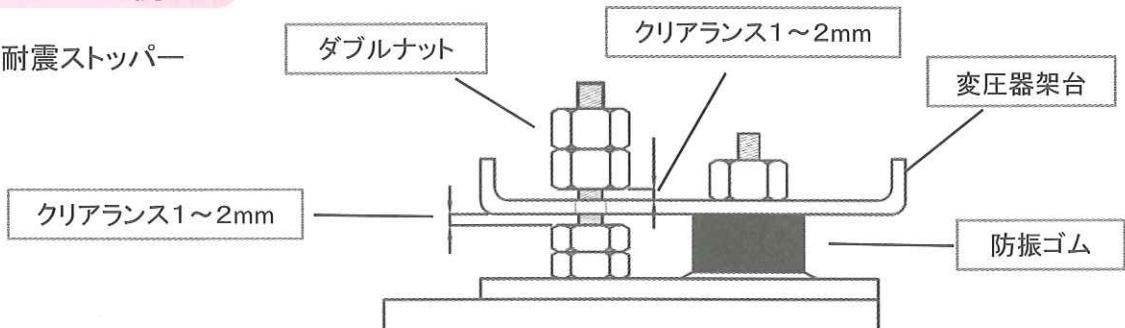
| チェック箇所 | チェック項目 | 該当 |
|----------------|--|----|
| 変圧器下部 の防振ゴム | 防振ゴムの割れ・欠損・変形 | |
| | 耐震ストッパー機構がない | |
| | 耐震ストッパーの部材に損傷・変形 | |
| | 耐震ストッパーのクリアランスは、共振、過大な振動が生じないように極力小さく(1~2mm)調整されているか | |
| | 変圧器重量に不適応な耐震ストッパー | |



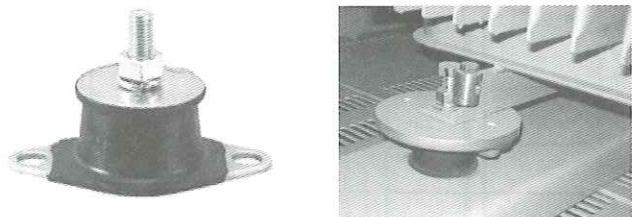
(写真:通しボルト形耐震ストッパー)

耐震ストッパーの例

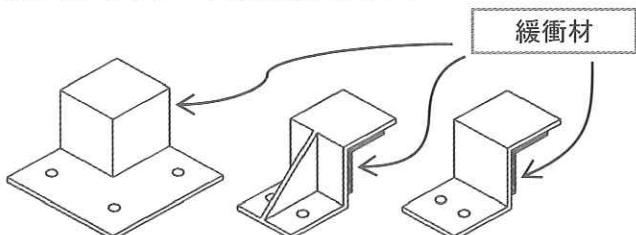
①通しボルト形耐震ストッパー



②耐震ストッパー付防振ゴム



③クランクプレート形耐震ストッパー



配線の余長の例



被 害 事 例



【電気設備の耐震性に関する文献】

- 『建築設備耐震設計施工・指針』一般財団法人日本建築センター
- 『建築電気設備の耐震設計マニュアル』日本電設工業会・電気設備学会
- 『配電盤・制御盤の耐震設計指針』一般社団法人日本電機工業会
- 『高圧受電設備規程』JEAC8011
- 『受配電・制御システムハンドブック』一般社団法人日本配電制御システム工業会
- 『キュービクル式高圧受電設備被災時における対応事例』盤標準化協議会キュービクル技術部会
- 『東日本大震災による耐震対策報告書』一般社団法人建築設備技術者協会